

燃やすごみ収集回数の変更に伴う 紙おむつ等の対策

令和7年8月
環境課 ・ クリーンセンター

現状の問題点

生ごみ分別収集の導入により、燃やすごみの収集回数が週 2 回から週 1 回に減少した。

これにより、紙おむつの保管や臭気問題が発生している。



550名の署名とともに要望書「燃やすごみ収集回数の週2回維持を求めます」が提出された。

議員6名より「紙おむつ（大人・乳幼児用）やペットシート等収集の早期対応を求める決議の提出について」が提案され、可決された。

これまでの取組み

令和7年
4～6月

紙おむつ等の排出の課題解決に向け、葉桜地区で
実証実験を実施

令和7年
4～6月

直営における収集体制の検証

令和7年
7月

燃やすごみ収集時にごみ容器が増えている世帯に
対しヒアリングを実施

取組みによる評価①

拠点回収ボックス

- ❑ 葉桜地区の実証実験から、町内全域においても設置の効果は期待できる。
- ❑ 設置を継続して欲しいという声があり、ニーズはある。
- ❑ 排出の際は、車や徒歩で持ちこまれ、仕事、散歩や買物等、外出のついでに利用されていた。



取組みによる評価②

紙おむつの追加戸別収集

- ヒアリングでは、臭気についてほとんどの方がお困りではなく、工夫次第で解決方法がある。
- 収集量を見ると必ずしも必要ではないケースが多かった。
- 寝たきりの高齢者がいる世帯では、量が多い。
- 集合住宅にお住まいの場合、保管の問題が生じている。

取組みによる評価③

収集体制

- 町内全域で取組みを行う場合には収集場所が広範囲に広がるため、収集体制の工夫が必要。
- 拠点回収ボックスについては、土日に収集業務がないため、設置箇所数と設置方法の工夫が必要。

まとめ

- 取組みから様々な排出方法やご意見を伺った。町民の皆様が排出方法に工夫し、ご協力くださっていることで今の現状があることがわかった。

これからの取組み

今後も調査・研究を続けます。

取組みの振り返りを行い、引き続き問題解決に努めます。

併せて、資源化への取組みを進めます。

生ごみ資源化に次ぐ資源化施策を模索し、ゼロウェイストを目指します。

紙おむつ等専用回収ボックスの設置

きめ細やかな寄り添った対応をします。

紙おむつ等専用回収ボックスの概要

設置場所

役場、南郷上ノ山公園、横須賀市資源回収共同組合葉山事業所

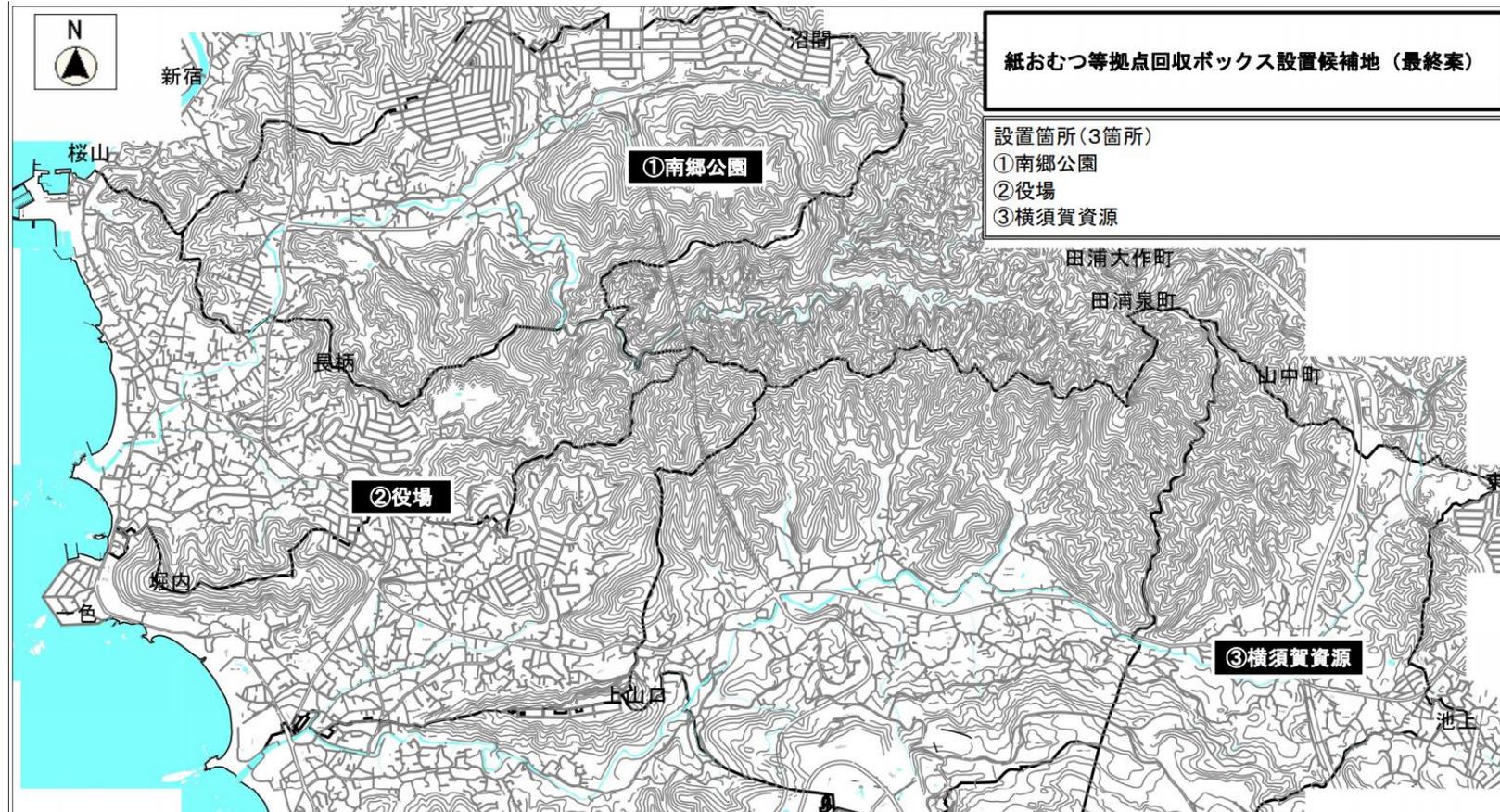
品目

- 紙おむつ等：紙おむつ、尿漏れパッド、お尻ふきシート
- ペット関連：ペットシート、ペット用紙おむつ、猫砂、ペットの糞
- その他衛生ごみ：生理用品、嘔吐物

排出ルール

- 透明・半透明の袋を指定。
- 24時間排出可能を基本としますが、設置場所によっては施設稼働時間となります。

設置場所の位置図



運用方法

管理体制

- 専用回収ボックスの管理は、クリーンセンターが行う。
- 収集は、土・日曜日・年末年始を除き毎日行う。

周知方法

町広報、町ホームページ、LINE、さんあ〜る、回覧板等

処理方法

回収した紙おむつは焼却処理を行う。